

鈴木貴人先生（医学科33期）アンケートご回答

質問1 受賞の喜びをお聞かせください。

第28回の同窓会松門会学術奨励賞では受賞できなかったのですが、第29回の奨励賞で受賞することができて嬉しく思います。

質問2 いつ頃からどのようなきっかけで今回のテーマに取り組まれたのでしょうか。

研究は2021年より取り組んでいました。間質性肺炎はがんよりも知名度が低いですが、がんと同様に予後不良な疾患であり、研究が求められている分野です。今回は身近なデータから間質性肺炎の予後を予測できないかという考えから始まり、血球分画比とLDHを組み合わせたLIPI (lung immune prognostic index) に着目し、研究を行いました。

質問3 今回の研究でご苦労された点はなんでしょうか。

本研究は874例という多数のデータ収集が最も苦労しました。複数の施設の症例も扱っていたので、データ収集だけで9か月を要しました。

質問4 近況をお聞かせください。

現在は市中病院で勤務をしており、呼吸器グループの臨床研究を中心に活動しています。

質問5 今後の課題についてお聞かせください。

今回の研究ではLIPIを用いた予後予測について検証しましたが、今後は前向き研究として、治療有効性マーカーとしての有用性の検証をしていきたいです。

また、間質性肺炎以外の様々な疾患の病勢との関連性についても検証していきたいです。

質問6 今後の同窓会に望むことをお聞かせください。

同窓会松門会学術奨励賞は研究の励みとなりますので、今後も長く継続をしていただけたら幸いです。